

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： ナノ結晶の自己集積化による構造特異的反応場の構築
2. 研究代表者： 猿山 雅亮（京都大学 化学研究所 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、液相中で様々な無機物質のナノ粒子をすばやく組み上げる手法を確立し、形状制御やイオン交換反応などと組み合わせることで、多様なナノ粒子三次元超格子群の創製を目指すとともに新しいエネルギー変換材料としての応用展開にも挑戦している。フェーズ1では、ナノ粒子の高次集合体構築に関する独自性の高い技術を様々な物質系に適用し、超構造体のバリエーションを広げること的成功しており評価できる。フェーズ2では、フェーズ1の成果を踏まえてより高度なナノ粒子超格子の構築および反応場としての利用を計画している。反応場としての展開については、材料のバリエーションを増やすことにとどまらず、反応場の設計まで含めて研究を進めることで、より深い成果を得ることに期待する。

以上